

## 平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

### 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

1 実践テーマ	【 I、II 】
2 実施対象者	福岡県立久留米聴覚特別支援学校 中学部1～3年生 16名 小学部4～6年生 14名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空会社に勤務する本校卒業生を招き、東京2020大会に向けて航空会社の取組を紹介してもらうことにより、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。</li> <li>・航空会社の一員として活躍している先輩の姿に触れることにより、生徒が将来に夢を描くことができるようとする。</li> </ul>
5 取組内容	1 事前指導 本校を卒業し、日本航空に勤務している先輩をお招きすることを伝え、期待を高めるとともに、質問を準備させた。  2 講演会 講師：井上彩香さん（20代） 関東在住 プрезентーションソフトを用い、自分の生き立ちや現在の仕事の紹介、オリンピック・パラリンピック東京2020大会に向けて会社が取り組んでいる活動などについて、分かりやすく紹介していただいた。途中、オリンピック・パラリンピックに関するクイズも交え、児童生徒の興味・関心が高まるような工夫もしていただいた。   

	<p style="text-align: center;"><b>&lt;プレゼンテーションの一部&gt;</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>東京2020大会に向けて (オリンピック・パラリンピック) ～JALが取り組んでいる 活動について～</b></p>  </div><div style="width: 45%;"> <p><b>JALとオリンピック・ パラリンピックとの関係について</b></p> <p>1964年：東京大会でアテネからの聖火輸送 ↓ 公益財団法人日本オリンピック委員会・日本パラリンピック委員会のオフィシャルパートナーになる ↓ 東京2020大会も「オフィシャルエアラインパートナー」として関わらせていただことになった <b>オリンピック・パラリンピックに関わって50年以上！</b></p> </div></div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>JALの東京2020大会 に向けてのテーマ</b></p> <h1 style="font-size: 2em; color: red;">Fly for it!</h1> <p>一緒に、もっと飛べる。 スリートが高い目標に向けて挑戦していく姿と、JALの翼を支える一人ひとりが『世界で一番お客様に選ばれ、愛される航空会社になる』ために、自分と仲間を信じて挑戦していく姿を重ね合わせ、2020年とその先に向かって一緒に進んでいきたいという想いが込められている <b>このテーマをもとに、JALグループ一丸となって東京2020大会を盛り上げていきます！！</b></p> </div><div style="width: 45%;"> <p><b>JALでの取り組みとしては 3つの項目がメイン！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「一緒に参加プロジェクト」 →スポーツを通して、未来の子どもたちの成長（次世代育成）をサポート...etc</li> <li>②「一緒に創るプロジェクト」 →2020年4月からキャビンアテンダントさんなどの制服をリニューアル...etc</li> <li>③2020年に向けた取り組みを <b>「嵐」と共に盛り上げていく</b></li> </ul> </div></div>
6 主な成果	<p>児童生徒は目を輝かせて講演に聞き入り、クイズコーナーでは積極的に答えながらクイズを楽しみ、質問コーナーでは次から次へと手を挙げるなど、大いに盛り上がった。</p> <p>講演の途中で右のようなクイズが出題され、「これは知つておくべきことだよ！」といった声掛けで気持ちを高めていただいたことで、児童生徒の2020東京大会に関する知識も増え、興味・関心が高まったようである。</p> <p>講演の感想を冊子にまとめ郵送したところ、講師から参加した児童生徒一人一人へのメッセージカードが届き、更に交流が深まった。講師の井上さんとの良い関係性が、児童生徒のオリンピック・パラリンピックへの関心の高まりにもつながると期待している。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達と同じ聴覚障がいの先輩を講師として招くことにより、親近感をもって講演を聞くことができるようとした。</li> <li>・航空会社という、おもてなし最前線の立場からの話を聞く機会をとおして、児童生徒の「おもてなしの精神」の涵養に努めた。</li> </ul>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の取組を紹介していただくにあたり、会社内での厳しいチェックをクリアすることが必要であったため、その時間を確保する意味でも、早め早めに計画を進める必要がある。</li> </ul>
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井上さんからプレゼンテーションデータをいただいているので、機会に応じてそれを活用し、オリンピック・パラリンピック教育を行う。</li> </ul>